

問い合わせ先
 県土マネジメント部公共工事契約課
 公共工事契約管理係
 0742-27-7425

平成27年度 第3回 奈良県入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成28年2月10日（水） 奈良商工会議所4階小ホール	
委員	委員長 池田 辰夫 委員長代理 福井 英之 藤平 真紀子 槇村 久子 三浦 晴彦	
審議対象期間	平成27年8月1日～平成27年11月30日	
抽出案件	6 件	(備考) ○審議対象期間中の総契約件数、入札参加停止措置状況、入札契約制度の適正化に係る取組状況並びに談合情報の対応等について説明
一般競争入札	5 件	
指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	次頁以降参照	
委員会による意見具申又は勧告の内容	<p>○抽出案件については、不正を疑わせる内容もなく、概ね妥当であると考えます。</p> <p>○今後とも入札制度の不断の改革に努めることとし、更なる競争性・透明性・公平性を確保し、県内優良建設業者の育成や不良不適格業者の排除を促進するとともに、価格と品質で総合的に優れた調達が確保されるよう、引き続き検討・見直しを進めていただきたい。</p> <p>○今後とも県民の信頼に耐えうる入札制度の更なる改善に努めていただきたい。</p>	

質 問	回 答
案件1(農業研究開発センター整備事業温室修繕工事)	
○雨漏りのため、ガラス温室ガラス葺き替えを追加発注しているが、工事前に点検は実施されていたのか。	●仕様作成時に点検を実施したが、雨天日が連続して初めて雨漏りが判明した。
○予定価格作成の際に、なぜ落札が予定される業者に見積りを依頼したのか。	●工事が複雑な場合や、工種の適用事例が少ない場合には、見積りを依頼することとしており、当工事は工種の適用事例が少ないことから見積りを依頼した。
○予定価格はどのように定めたのか。	●見積りの提出があった4者の各作業項目を比較した。そのうち最低の金額となった見積りの内容を採用して、予定価格を定めた。
案件2(安全運転学校・運転免許課別館耐震改修工事)	
○4者入札のうち、2者が辞退し、応札者の間で金額が異なるが、理由はあるのか。	●追跡調査まではしていないが、他の工事の入札結果を踏まえ、配置する技術者が確保できなかったのではないかと推察。また金額の差異については、各業者の考え方もあり、明確な理由については不詳。
○技術評価点として「基準点」「加算点」とあるが、各点数はどのように審査しているのか。	●総合評価落札方式により、「安全運転学校の壁補強について、コンクリート構造物のひび割れを防止する具体的工夫」につき技術提案を求めた。その上で、入札参加者の「基準点」を100点とし、総合評価審査委員会での技術提案の審査結果を「加算点」としている。
案件3(桜井浄水場フロック形成池浄水設備更新工事)	
○入札した3者のうち、2者が辞退した結果、応札者が1者となっているが、理由はあるのか。	●追跡調査まではしていないが、他の工事の入札結果を踏まえ、配置する技術者が確保できなかったのではないかと推察。
案件4((都)石木城線 擁壁工事(社会資本整備総合交付金事業(街路改良))	
○共同企業体での発注となった背景は何か。	●金額規模・予算・格付け・県内業者の受注機会等を踏まえ、「建設工事発注基準(土木)」に基づき、行った。
案件5(農業研究開発センター 交流・サロン棟新築工事(建築工事))	
○応札者が1者しかなかった理由はあるのか。	●公告時点での対象業者数を考えると、数字上は14JVが考えられた。ただ入札公告で公募した結果、1JVしかなかった。
案件6(坪内地区 地すべり対策工事(単独自然災害防止事業(地すべり)(南部・東部))	
質問なし。	